

今年も
夏休みに実施します！

— 子どもたちがいきいきと活動する授業をめざして —

第4回夏の社会科授業づくり講座

“教材研究の時間がないので、ついつい教科書を読む授業になってしまう”、“学区のことを教材にしたいが、どうやって計画を立てたらよいかわからない”……

子どもたちがいきいきと活動する授業をつくるためにがんばっている先生方、学生のみなさん。ベテラン教師の体験を聞き若い教師の模擬授業を体験しながら、社会科の授業づくりを学びませんか。

- 8月21日(日) 午前9時(受け付け開始)～午後5時(解散)
- 千葉市生涯学習センター 3階 特別会議室
* 千葉市中央区弁天 3-7-7 (JR千葉駅下車 徒歩8分) Tel.043-207-5811
- 参加費 300円(資料代)



第1部 9:30～12:00 講演 「魅力ある社会科の授業をつくる」

西村美智子さん(大学非常勤講師)

社会科は教科書通りにやれない教科です。地域や生活から課題を見つけ、カリキュラムを自主編成して、自ら授業をつくっていくことが求められます。大変だと思う反面、子どもの現実を見据え、何をどう教えるか、自分の頭で考え開拓していける自由があるということです。楽しく学び、深く考え、確かな認識を育てる授業をどのようにつくっていくか、いっしょに考えてみませんか。

第2部 1:00～2:50 模擬授業① 小6 「原爆の投下は正しかったのか？」 佐藤嘉彦さん(千葉市の小学校教師)

今年、オバマ大統領が広島を訪れました。授業では、原爆投下についてのアメリカの教科書の記述と原子爆弾の威力や被害がわかる資料を読み取り、自分の意見をまとめさせます。それぞれの意見を交流したあと、オバマ大統領の演説を読んで、もう一度考えさせたいと考えています。

第3部 3:00～5:00 模擬授業② 小5 「和算に挑戦」 三橋昌平さん(千葉市内の小学校教師)

授業のねらいは、江戸時代の算数に挑戦することで、社会が安定するにつれ歌舞伎や浮世絵などの文化が町人の間に広がったように、和算が人々の間に浸透していったことをつかむことです。その後の、和算を通して江戸時代の人々と寺社との関係を理解する授業の導入の時間です。